

ANIC info



Association for
Nakano
International
Communications

中野区国際交流協会

2018
November

夏の海外体験で一回り成長した子どもたち

～中野・ウェリントン友好子ども交流2018～

～第22回中野区・西城区友好親善少年軟式野球大会～

ニュージーランドから留学して/やったね!の会

イベントレポート 松が丘北野神社盆踊り/大和町八幡神社 例大祭/
なべよこ国際カフェ・さぎのみや国際カフェ/
インターナショナルウィーク/夕涼み会

お知らせ

外国人のための専門家相談会

国際スポーツ交流「ボッチャ」参加者募集!!

新会長・新理事長が就任しました



Welcome
to
あにっく



夏の海外体験で一回り成長した子どもたち

中野・ウェリントン
友好子ども交流 2018

7月26日(木)から8月13日(月)の19日間、中野の中学生18人がニュージーランドの首都ウェリントンを訪れ、ホームステイをしながら学校体験と施設見学をしました。団員たちの感想の一部をご紹介します。

1985年にスタートしたこの友好子ども交流は、ニュージーランドで日本語を学ぶ子どもたちに日本での学習の機会を与えたいという申し出を中野区が受入れたことがきっかけで、その翌年ウェリントン側から招待を受け、相互交流がスタートしました。34年の間に、651人がこのプログラムに参加し、世界にはばたく人材を輩出しています。

学校体験

- ニュージーランドの学校のグラウンドは日本の学校のグラウンドの数十倍を余裕で超えていた。更に、大体のグラウンドが芝生で、一つの校庭では裸足や靴下でサッカーやラグビーをしていたことに驚いた。(T.Y)
- 日本とまるで違い、いろんな人種でゴッタ返しており、クラスも大学のように生徒が各教科の教室に向く仕組みでした。そのため校舎がいくつもあり、校庭もとても広がりました。(H.H)



単語テストはパソコンをつかって

マオリの文化と大自然

- 僕はマオリの人々のハカを見て、勢いに圧倒された。ニュージーランドがマオリの人々を大切にしているからこそこのハカだと思った。(H.N)
- 透き通ったきれいな海が一望できるキャッスルポイントに行ったり、囲いのない危険な山に登ったり、膝まで水につかる洞窟に入ったりと様々な体験をしてたくさん自然に触れることができました。あまり経験したことのない活動ばかりでとても印象に残っています。(M.I)
- 一番に残っているのは、キャッスルロックの登山です。謎の犬がついて来て、とてもかわいかったし、ほとんど崖みたいなどころに登ったりして、頂上から見た景色はもう最高でした。(R.Y)



キャッスルポイントで

おいしい食べ物

- お父さんお母さんも毎日おいしいご飯を作ってくれた。特にお肉は、日本の家では食べたことがないくらい大きかったので、驚いた。(R.M)
- ホストファミリーが作ってくれた『パブロバ』は、生地がメレンゲで出来ていて口の中に入れて溶けて甘さが広がって、とてもおいしかった。私も、教えてもらって一緒に作ったこともあった。今も食べたくてたまらないです。(A.T)



パブロバはニュージーランドの伝統的なお菓子

ホストファミリーとの思い出

- 初めて会ったとき「はじめまして」と日本語で言ってくれた。ホストマザーとホストファザーはこの「はじめまして」を繰り返し練習していたそうだ。後でそれを聞いて、とてもいい人達だと思われしくなった。(R.J)
- ホストステューデントと新聞配達をしました。初めてだったので、間違えないように配るのに苦労したのと、比較的山道が多くて、歩きだったのでとても大変でした。でも、冬だったので涼しくて気持ちよくて楽しかったです。(R.T)
- 水不足と聞いていたので早めにシャワーを済ませたら、思いのほかホストファミリーのシャワーの時間が長く、ホストマザーに「こんなにシャワーが早い人は初めて見たわ」と言われ、逆に驚いた。(R.S)
- 映画「ミッションインポッシブル」を見に行った。英語だし、字幕もなく何と言っているか分からなかったけれど、なんだか楽しかった。映画館の雰囲気分かってよかった。(N.N)

- ホストステューデントの末の弟が4歳で、やんちゃなところもあり僕の部屋でおもちゃ箱を広げたりして困ることもあったけどかわいくて、一緒に遊んでいるとリラックスすることができた。彼のおかげで、少しずつ家族になじめた。(Y.O)

日本を伝える!

- 日本から持参した抹茶茶碗でお点前を披露した。ホストステューデントは、去年中野に来た時に、祖母の茶室で飲んだ作法を覚えていて、茶碗を回してから飲むことを両親に説明してくれて感動した。両親はとても褒めて喜んでくれた。その後、茶道をYouTubeで調べて嬉しそうに話していた。僕は、日本の文化を少しでも伝えられたと思うと誇らしくなった。(K.O)
- 私がホストファミリーにお味噌汁を作ったとき、あまり上手にできませんでした。でも、みんなとても喜んでくれました。言葉の壁を越えて、本当の家族になることができたと思っています。(U.K)

やさしいニュージーランドの人たち・コミュニケーション

- 感謝の心を知ることができた。私を受入れてくれたホストファミリー、お姉ちゃんのように接してくれたホストシスター、本当にありがとう。(I.T)
- 英語は、最初は何を言っているのか全然わからなくて時々困惑したが、だんだんと過ぎていくうちに少しずつわかるようになり、自分からも話せるようになっていった。すごく大きな進歩だと自分でも思った。(M.N)
- 国や使っている言葉が違う人ともっとコミュニケーションをとってみたいと思った。一番印象に残ったことは、人の心の温かさだ。(M.K)
- 僕たちがソーラン節などのパフォーマンスをした時に、とても盛り上がりしてくれたので、達成感が得られた。生徒たちの反応が良く、国民性の違いを感じた。ニュージーランドの人はとてもフレンドリーで、積極的に話しかけてくれるのでシャイな日本人にとっては助かったと同時に、彼らのようなコミュニケーション力を学ぶことが大切だと思った。(Y.I)



生徒たちの前で披露したソーラン節

スケジュール

7月26日(木)	中野区を出発、羽田空港からNZ092便でニュージーランドへ
7月27日(金)	ウェリントン到着、ホストファミリーと対面、歓迎会、14日間のホームステイ開始
7月28日(土)29日(日)	ホストファミリーと自由に過ごす
7月30日(月)~8月3日(金)	ウェリントンカレッジ、ニューランズカレッジに体験入学
8月4日(土)5日(日)	ホストファミリーと自由に過ごす
8月6日(月)~8日(水)	2泊3日の野外活動。ホルダリング、キャッスルポイント登山、洞窟探検で土ボタル観賞など。
8月9日(木)	ジールンディア(原生動物植物保護地区)、乗馬体験
8月10日(金)	国会議事堂、テパV国立博物館などを見学。お別れ会
8月11日(土)	ホストファミリーと自由に過ごす
8月12日(日)	ホストファミリーと自由に過ごす、夕方ウェリントン空港へ
8月13日(月)	帰国

この夏休みに中野の子どもたちがニュージーランド・ウェリントン市、北京市西城区へ行き、日本ではできない様々な体験をしてきました。海外の人との交流を通じ、どう感じ、何を学んだのでしょうか。

第22回中野区・西城区
**友好親善
少年軟式野球大会**

8月22日(水)から27日(月)の6日間、中野の少年野球チームから12人の選手がオール中野として中国北京市西城区を訪れ、現地の選手と交流試合を行いました。万里の長城などの世界遺産を見学し、文化に触れました。選手たちの感想の一部をご紹介します。

中野区と北京市西城区は、1986年に友好区関係を結んで以来、両区民の相互訪問を含め、30年以上にわたって交流を深めてきました。その中で、野球を通じての子どもたちの交流は、1990年以来、続いています。今日に至るまで、毎年のように中野区内の少年野球選抜チームが西城区を訪問し、交流試合を行ってきました。その交流は、22回に及び、訪問団員数も424人に上ります。また、西城区の子どもたちも3回中野区を訪問し、交流試合を行いました。こうした交流は、参加した子どもたちにとって、国際的な視野を育てるとともに、隣国の歴史、文化に触れる貴重な機会となっています。

参加者：19人
選手12人
随行人7人

楽しみにしていた交流試合

- 中国の選手に僕の投球をほめられてはげみになりました。この経験を生かしていきたいと思います。(MS)
- 中国のチームも点を取ると喜び苦しい時にはチームで声をかけ合っていると分かりました。その姿を見て、国とか関係なくチームで戦い、チームで助け合おうといった「チームメイト」との「チームワーク」の大切さを改めて感じました。(MF)
- 中国の選手はみんな大人ぐらいの大きさにビックリしました。(KY)



試合の後、集合写真

**中国に行く前に
したかった事**

- 中国の選手と野球をしたい。
- 本場中華料理を食べたい。
- 世界遺産を見たい。



**中国に行く前に
不安だった事**

- 食事が食べられるか不安。
- 初めての海外旅行なので不安。
- 空気が汚れているのか不安。



観光客が凄い！世界遺産

- 万里の長城の一番上に行くと、そこには絶景が待っていました。そこから中国の列車も見ることが出来てとてもうれしかったです。(KI)
- 北京に行った後に万里の長城の長さや作った年月を調べたら、もう一度作ろうと思っても作れないと思いました。(YK)



万里の長城（居庸関）で

楽しかった選手との交流

- 中国にはいろいろなルールがあります。日本とは全然違いました。中国の人たちと言葉は、通じなかったけどしぐさなどでお互いを理解しあえたのでよかったです。(KT)
- 交流宴で中国の人達はたくさん話してくれて、またスマートフォンでおもしろい動画を見つけてぼくたちに見せてくれました。(KO)
- 自分から積極的に声をかけて仲良くなれました。(AY)



西城区の選手と一緒に

北京に行ってみて

- 日本と違う文化を見て、色々な興味を持ちました。次はもっと勉強してからまた行ってみたいと思いました。(HA)
- 北京に行ってみて、日本の良いところと北京の良いところがわかりました。(KT)



頤和園にて地面書道

**試合
結果**

第1試合	中野区 11 対 西城区 9
第2試合	西城区 12 対 中野区 7
第3試合	中野区 23 対 西城区 0
第4試合	中野区 9 対 西城区 3

お世話になった西城区の方々

- 王さん（ガイド）とみんなで過ごした毎日は家族みたいな感じでした。(KW)
- 北京の方々に感謝しています。北京の方々が日本に来る事があったら、僕達でガイドをしてあげたいです。(TK)



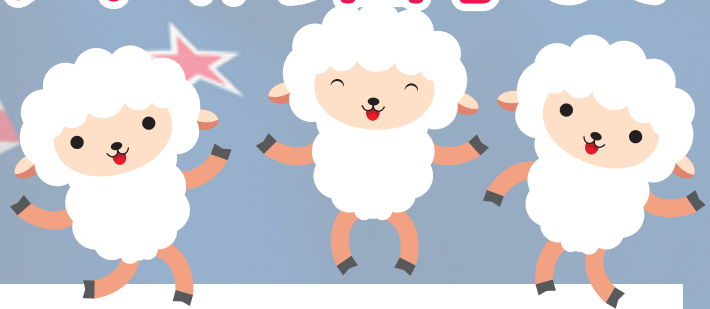
お世話になったガイドさんと一緒に

スケジュール

8/22 (水)	表敬訪問・北京動物園にてパンダを見学・歓迎宴
8/23 (木)	故宮・天安門広場・京彩磁器博物館見学と体験
8/24 (金)	万里の長城・頤和園
8/25 (土)	交流試合1回戦・2回戦
8/26 (日)	交流試合3回戦・4回戦
8/27 (月)	什刹海にて輪タク体験・散策

ニュージーランドから留学して

2018年3月～12月までニュージーランド・ウエリントン市から東亜学園高等学校に留学中のアナヘラ・ルーステンバーグさん。毎週火・木曜日はANICの日本語講座で日本語学習に励みました。残りわずかとなった日本での生活を振り返って、作文を書きました。



日本の文化も好きだし、食べ物も好き、住んでみるしかないでしょう。しかし、それより日本の学校で勉強してみたかったです。日本の生徒の生活はニュージーランドの生徒の生活と本当に違いますから、興味がありました。例えばニュージーランドの学校では部活が毎週一回しかしません。だが、日本では毎日部活をします。毎日練習すると必ず上手になると思い、興味がある美術部に入りましようと思いました。そして、ホストファミリーと住むとお互いに世界の生活が習えて、絶対良い経験になって、日本へ行きたいと思いました。

実は東京へ来る前に一度日本へ来たことがありました。2016年に大阪へ行きました。でも大阪は東京ととても違いますね。一番驚いたことは東京の鉄道です。私が来たウエリントンではあまり電車に乗りません。そして、ウエリントンの電車とバ



スはラッシュでも1時間に2回しかきません。だからいつも出発する前に時間割を見ておきます。でも、日本では電車が乗りたかったらただ駅へ行って、たいていすぐ乗れます。これがとても便利だと思いました。



8月20日(月)夏休み子ども日本語クラスで「やったね!の会」がありました。

「やったね!の会」とは、全12回の夏休み子ども日本語クラスの最終日に行うスピーチ大会のことです。夏休み子どもクラスは30人以上の子どもが通い、35℃を超える暑い日も休まず皆勤の子も7人もいました。スピーチの内容は十人十色。来日間もない子は出身地・学校名・好きな食べ物などの簡単な自己紹介をします。自分の生まれた国と日本との違い、将来の夢、修学旅行の思い出についてなど、それぞれの思いをスピーチにしました。少し緊張した

子もいました。抑揚をつけて

大人っぽく話し、聴衆を驚かせた子もいました。「本物の恐竜に触れる博物館の館長になりたい!」…自分の好きなこと、やってみたいことをキラキラとした目で話した子もいました。「米は新潟産の米が好きですが、うちで食べているのは山形産です。」…楽しそうに話し、みんなを笑わせた子もいました。人前で話す経験は自信につながります。この経験を糧に、日本語の勉強によりいっそう積極的に取り組んでいってほしいです。



イベント レポート

松が丘北野神社盆踊り

8月4日(土)に、中野区松が丘にある北野神社の盆踊り大会に、TCC日本語学校の先生と生徒さん、着付けボランティア、金曜ボランティアの方27名で参加しました。学生さんは、中国、ベトナムの国の方でした。

22名の浴衣姿は色とりどりで、とてもきれいでした。盆踊り会場では、松が丘片山町会の方々に大変お世話になりました。



大和町八幡神社 例大祭

7月22日(日)に、中野区大和町にある八幡神社の例大祭に金曜ボランティアとメキシコ・台湾・韓国・タイ・アメリカの国の方16名で参加しました。

大和町界隈をお神輿と一緒に練り歩きました。普段歩く事の出来ない通りを堂々と歩けるのは、お祭りの楽しみでもあります。途中休憩では、飲み物や食べ物をいただいて外国の方たちは、とても喜んでいました。なかなか出来ない経験が出来、いい思い出になりました。

大和町若睦会青年部や町会の方々に大変お世話になりました。



なべよこ国際カフェ さぎのみや国際カフェ

9月8日(土)に「なべよこ国際カフェ」、10月13日(土)に「さぎのみや国際カフェ」が開催され、外国人と日本人が日本語でおしゃべりを楽しみました。

なべよこでは参加者で「いろはかるた」をし、日本のことわざ、世界のことわざについて話しました。日本のことわざと同じ意味のことわざが他の国でも違う言い回しであることがわかりま

した。さぎのみやでは帰化日本人である藤井さんがウイグルについて話しました。ウイグルの歴史や日本人とのつながり、帰化日本人として感じること…中身の濃い勉強になった一日でした。



インターナショナルウィーク

9月25日(火)～28日(金)に、中野区役所ロビーと正面玄関前にてインターナショナルウィークを開催しました。

東京オリンピック・パラリンピック2020に向けておもてなし英会話のブースやさまざまな国の方のために日本語をやさしくする「分かる日本語」に挑戦するブース、世界のお菓子も販売しました。

ロビーの展示は、NPO日本・ミャンマーメディア文化協会の協力で、日本×ミャンマーのこども絵画展を開催しました。

4日間色々な方とお話が出来、ANICを知っていただく良い機会となりました。



夕涼み会

今年は早い夏がやってきました。その中、7月19日(木)に「夕涼み会」をなかのZERO西館で開催しました。

外国の方が、日本の夏の風物詩を体験し、日本の方々との交流を促す催しです。

110名の外国の方が参加し、120名を超えるボランティアの方々工夫を凝らしてお迎えしました。



ヨーヨー釣り、射的、輪投げやかき氷など、夜店の雰囲気漂う出し物や、帝京平成大学の方々のサッカーボールアート、ホスピタリティツーリズムの方々の風船アート、大道芸、絵てがみの会の方のご指導のもとに絵てがみ体験コーナーなど、盛りだくさんのお楽しみコーナーでみなさん楽しみました。東亜学園の方々がそのコーナーでお手伝いをしました。

メインは盆踊り。50名余りの外国の方が浴衣を着て盆踊りを楽しみました。民謡・民舞 鳳蝶(あげは) 流家元師範 鳳蝶美成(あげはびじょう)さん、そのお弟子さん方のご指導のもと、太鼓も加わり、大変盛り上がりました。

お知らせ

問合せ

中野区国際交流協会 (ANIC)

TEL : 03-5342-9169 E-mail : anic@nifty.com

外国人のための専門家相談会

Expert consultation for foreigners

無料
Free of Charge

予約不要
No Reservation

秘密厳守
Privacy Guaranteed

日時
Date 11月10日(土) November 10th (Sat)
13:00 ~ 15:30

言語
Languages English・汉语・韓国語・Filipino・
Spanish・Portuguese・عربية・
やさしい日本語・ネパール語

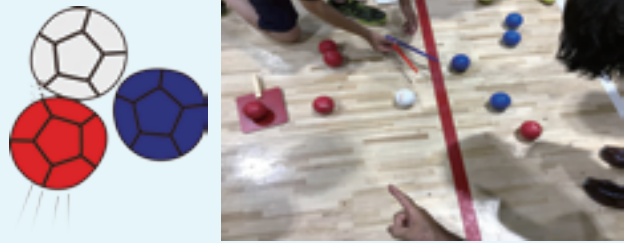
会場
Place なかのZERO西館
(法律、ビザ、税務、労働、経営、教育)



国際スポーツ交流「ボッチャ」 参加者募集!!

「地上のカーリング」と言われ、パラリンピックの種目にもなっている話題のスポーツ・ボッチャ。一度体験してみませんか?ぜひご参加を!

日時: 11月17日(土) 13:00 ~ 16:00
会場: なかのZERO 西館 美術ギャラリー1 (中野2-9-7)
参加費: 100円(先着順)
定員: 外国人・日本人(40名)
申込: 11月16日(金) 締切。電話またはメールで、「11/17 スポーツ交流 申込」と記入の上、住所、氏名、電話番号、出身国を上記協会までご連絡ください。



新会長・新理事長が就任しました

新会長

酒井 直人



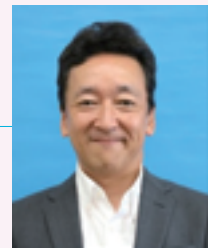
このたび中野区国際交流協会の会長に就任しました中野区長の酒井直人です。

中野区では、外国人住民が年々増えています。異なる文化が共生し合う地域づくりを目指すとともに、今後も外国人と中野区民がともに学び、交流しあう機会を広げていけるよう、会長として力を尽くしたいと思います。

どうぞよろしくお願いたします。

新理事長

横山 克人



このたび中野区国際交流協会 (ANIC) の理事長に就任しました中野区副区長の横山克人です。

ANICは、これまでボランティアをはじめ多くの関係者の皆様に支えられながら、外国人の方々に対する日本語の支援や国際交流事業を行ってきました。

今後も、区民レベルの国際交流・友好事業を推進していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

編集後記

今年の夏は連日の「命にかかわる危険な暑さ」に、立て続けにくる「猛烈で非常に強い」台風と、例年の非ではない大変な夏でした。だんだんと寒くなってきましたが、冬はどうか過ごしやすい天候になりますように…。(M)

